

「新型コロナウイルス」感染拡大に対する申入れ

新型コロナウイルスの感染は拡大が懸念される中、公共交通機関である当社の感染リスクは高く、そこに働く社員及びグループ会社社員、その家族の不安は高まりをみせています。そうした不安の解消を図るとともに、感染防止に向けた対策と感染が発生した場合の対応を、労使で現状認識を一致させることが重要と考え、地本は2月25日に支社へ「『新型コロナウイルス』感染拡大について（新総第5号）」の申入れを行いました。

- 1 新型コロナウイルス感染拡大の対する、会社の現状認識を明らかにすること。
- 2 会社における感染拡大防止対策について明らかにすること。
- 3 業務中のマスク着用の徹底と、各箇所に消毒液の設置を早急を実施すること。また、消耗切れとならないよう、十分な個数を確保すること。
- 4 駅、車両の清掃、除菌についての対策を明らかにすること。
- 5 社員及びグループ会社社員その家族の感染が確認された場合の対策を明らかにすること。また確認された場合の勤務の取り扱いについて明らかにすること。

2019年度ダイヤ改正について交渉

地本は1月24日に申し入れを行った「2019年度『システムチェンジ・コストダウン計画（ダイヤ改正）』（新総第4号）」について、2月24日に支社と交渉を行いました。

1. ダイヤ改正については、お客様に広く周知するとともに、ご意見ご要望を反映させること。

- ①お客様に配布する新潟駅時刻表については、お客様のご要望に沿う様式とすること。

昨年度のダイヤ改正後配布したものは広域タイプ様式であり、携帯用及び掲示用ともにお客から多くのご意見ご要望を頂いた。今年度の改正においては、新潟駅単独の発着番線様式のを配布すること。

- ②車両運用が変更となり輸送体系が変わる線区については、お客様のご理解が得られるよう周知すること。

228Dにおいては、車両運用が変更となり新津始発となる。このため上越新幹線303号から新津以遠への接続列車がなくなる。ダイヤは商品であり、その内容について変更を求めることではないが、磐越西線方面へのお客様への周知はしっかり行うこと。

会社＝ダイヤ改正に伴うお客さま周知については、駅頭掲示や携帯時刻表の配付により行っていく考えである。なお、携帯時刻表の表記については、現行通りで考えている。

2. 新潟駅連続立体交差事業の進捗状況と、各業務施設の移動計画を明らかにすること。

- ①工事の進捗状況に応じた案内設備を整備すること。

- ②各窓口の問題点を集約し、必要な設備更新を行うこと。

大規模の変更に伴い、多くのご意見ご要望が寄せられている。新潟駅の実情にあった設計がされているか疑問がある。一度設置したものはおそれと変更はできない。これまでも後付的な拡張工事や変更がなされている（ホーム乗換え改札の風雨。西口出札窓口の亚克力板。改札童の室温等）。各現場の要求やお客様のご要望を真摯に受け止めていただきたい。

会社＝2018年4月高架一期開業以降、2021年頃の全面高架化に向けて工事を進めている。引き続き関係箇所と調整を行いながら、現支社ビル撤去に向けて万代改札、駅長事務室等の移転を予定している。

3. 多機能型券売機及び自動精算機の設置を推進すること。

新潟駅に限らず中間駅においても自動精算機の設置を推進していただきたい。また新潟駅西口においても多機能券売機の設置すること。

会社＝多機能型券売機及び自動精算機の設置については、お客さまのご利用状況を総合的に勘案し設置している。

4. 新潟支社内における長大ホームについて、運用される列車の車種や編成両数に適応した有効長に整備すること。

列車の編成両数や運用にそぐわないホームがまだまだ存在している。橋脚タイプではない長大なホームは、雪を抱える原因ともなる。実情にあった有効長とするとともに、雪害に強い構造のホームに変更すること。

会社＝新潟支社管内における各駅のホームについては、これまでも設備財産のスリム化工事をおこなってきたところであり、引き続き検討していくことで考えている。

5. 列車停止目標については、運用される列車の車種や編成両数を考慮し、ホーム上屋や除雪範囲に対応した停止目標に見直すこと。

会社＝停止位置目標の建植位置については、お客さまの動線や地上設備などを考慮した中で検討することとなる。

6. 長岡駅4番線の車掌用発車アラームを、下り6両編成に対応した箇所に増設すること。

会社＝設備投資の優先順位を勘案しながら、検討していく考えである。

7. 落下物拾得のため、マジックハンドを車両に搭載すること。

会社＝車両のマジックハンドについては搭載することで検討しているところである。

(搭載決定)

8. 新潟支社における車両の更新及び新型車両の導入計画を明らかにすること。

今後の車両の更新計画を明らかにするとともに、上越新幹線の更新計画についても明らかにすること。

会社＝「車両取替中長期計画ーベストプラクティス」については、「運輸車両関係社員のみなさんへ」において2018年4月以降に周知し、計画的に取り組んでいるところである。

本部対話集会を開催

新潟地本は3月7日、本部から菅野委員長、秋山副委員長を迎えて『本部対話集会』を開催しました。参加した組合員からは、エルダー関連や出向先などグループ会社における待遇改善に関する問題が多く寄せられました。今後もアウトソーシングや分社化などが進められると思われ、本体における労使交渉での「会社が違うから…」と言うばかりの回答では、この先への不安は拭い去ることが出来ません。本部もこのことは承知しており、JR連合の下にグループ労連を構築しグループ交渉を行う構想を持っています。そのためにもJREユニオンを盤石な組合とする、組織拡大が必要になります。皆さんの一層の奮起をお願いします。



業務部より

職場の諸問題については、まず職場で問題提起し、その対応などと共に組合へ早めに連絡いただければ、大会や集会で結果や経過をお知らせできるものと考えます。その際、具体的な日時や代替え案などもあれば併せてお知らせください。よろしくをお願いします。

組織部より

4月29日に予定されていましたが「第91回新潟県中央メーデー」は、連合新潟事務局からのWeb配信となりYou Tubeチャンネルが開設されました。組合員の参加はありません。なお、メーデー後の懇親会も中止とさせていただきます。ご了承ください。